

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473200879	事業の開始年月日	平成16年1月1日
		指定年月日	平成16年1月1日
法人名	医療法人社団 東華会		
事業所名	サリュール あさひ壺番館		
所在地	(241-0803)		
	神奈川県横浜市旭区川井本町45-6		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成21年11月1日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月7日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様にとっては居心地の良い環境作りを目指している。拘束、抑制がなく笑顔が絶えない日々を送れるように努めている。利用者様の誕生日会、各ユニット毎の外食会、季節に合わせた様々な行事や外出により、リビング依存の生活からストレス解消の場をより多く取り込んでいる。又、各利用者様には居室担当の職員を設け本人の要求や欲求を聞き、できるだけ応えられるようにしている。医療機関との連携に関しては主治医による月2回の往診、月4回の看護師来訪及び訪問歯科、その他、協力医療機関を2か所持ち、利用者様の健康管理面に於いては、ほぼ万全を尽くしている。利用者様の家族への連絡は、毎月発行する壺番館新聞と、手紙で利用者様の現状をお知らせすることにより、ホームでの生活の現状を知り安心いただいている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年2月8日	評価機関 評価決定日	平成22年4月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】</p> <p>◇身体拘束をしないケアを実践し、事業所内は日中どこも施錠することなく、玄関も開放されている。このため、職員は常に利用者の動向を見守り、外出の場合は基本的には同行することとしている。</p> <p>◇利用者の健康管理面で医療機関との連携を強化し、主治医による月2回の往診、看護師による月4回の健康管理チェック、その他に歯科医師の往診がなされている。</p> <p>◇利用者の重度化対応面では、医師の指導のもとに本人や家族の意向を尊重して対応し、ターミナルケアについては対応指針が完備され、職員も周知している。</p> <p>【事業所の工夫している点】</p> <p>◇利用者対応面では居室担当制を敷き、担当者が利用者や家族から意見要望を聞いたり、利用者が何を望んでいるかなどの意向把握に努めている。</p> <p>◇日常的な外出支援面では、天気の良い日は一定時間の散歩や外気浴を行い、利用者の希望があれば職員と一緒に買い物に行ったり、図書館を利用するなど支援している。</p> <p>◇家族に対して利用者の事業所内での生活ぶりをお知らせする手段として、毎月「壺番館新聞」を発行し、利用者の現状を記載した手紙と共に家族に送っている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	サリューブル あさひ一番館
ユニット名	1階（たんぼぼ）

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

サリュールあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様一人一人が笑顔の絶えない日々を送れるようスタッフ一同にて取り組んでいる。又、理念も職員全員が共有しており実践に繋がっている。	・事業所開設時に、全職員で「ふれ愛」「ささえ愛」「いたわり愛」の三つの理念を定め、玄関、事務室等に掲示し、日々介護での理念具現化に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くにある地域ケアプラザでのイベントや図書館、近くのスーパーへの買い物等を通じて交流している。今後も活発的に取り組んでいきたい。	・地域ケアプラザのイベントへの参加、地元中学生の職業体験の受入れ等地域の一員として活動している。 ・地域の方々とは毎日の散歩や買物で挨拶を交わし、交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において、話し合いを行っており、意見も求めた上でサービス向上に活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において、話し合いを行っており、意見も求めた上でサービス向上に活かしている。	・運営推進会議の場で事業所の状況を報告し、旭区福祉保健センター・川井地域ケアプラザなどから情報を得て事業運営に反映させ、町内会のイベントなどの情報を得て地域交流に活かしている。	

サリユーブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故報告書の件については連絡を取り合っている。その他、高齢支援担当や保護課担当とも連携を取っている。	・旭区役所担当課とは、利用者の手続き面で日頃から密接な連携を保っている。その折、事業所のサービス状況を報告して、種々アドバイスを得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員、正しく理解している。玄関の施錠を含めて身体拘束のないケアを行っている。	・日中は、事業所内のどこも基本的に施錠はしないことを、事業所内研修において全職員が周知している。 ・玄関も施錠はしていないので、常に利用者の行動を見守り、外出する場合は職員が同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修があれば、積極的に参加している。又、ホーム内においては“申送り”を密にして防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会がほとんど無い。制度の理解、活用については管理者より説明の機会を設けてほしい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結及び解約、改定時には本人及び家族に対して十分な説明を行っている。又、来所時においても説明する機会を設けている。		

サリュールあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の方からの意見や要望はユニット会議等にて話しあっている。更に緊急事項に関しては“申送りノート”を利用している。外部に対しては運営推進会議にて説明している。	・居室担当制を行っているので、利用者の意見・要望は担当が良く聞き、家族意見は家族の来訪時などに聴いている。 ・聴き取った意見・要望はユニット会議などで職員が共有し、必要事項は運営面に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月開催している全体会議にて職員の意見や提案を話し合っている。	・毎月開催のフロア会議、ケアカンファレンス、全体会議等で職員から意見提案が出され、介助方法の改善意見などが採択されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	意向調査やステップアップシートにより管理者との話し合いの場を設けており、管理者もそれにて評価をしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	基礎研修、介護勉強会を定期的に行っており、知識の習得、スキルアップを目指している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内ではあるが、他グループホームへの職員研修を定期的実施しており報告書等を通じ自ホームの活動に反映されている。		

サリューブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様本人の様子を伺い、本人が困っている事、不安な事等を傾聴し、安心できる関係づくりが築けるよう心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との関係を保つ為に情報交換や知識も交え、よりよい関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様の様子を見ながら判断し、出来ることはやってもらい、出来ないことは介助し、自立支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする関係を築く為には情報交換や自らの失敗のお話をするなど、本当の家族のように接している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	情報交換にも力を入れていますが行事等では家族と本人との絆を保てるよう一緒に行事参加をして頂けるよう声かけしている。		

サリユーブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なるべく関係が途切れないように支援しているが認知症の度合いや家族の要望等により出来ない場合もある。	・利用者一人一人に馴染みの人や場所を聞いて、関係継続支援に心がけている。散歩時は馴染みの花屋さんによって会話を楽しむこともある	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様にとって、その場の雰囲気や環境が良い方向にいけるよう計画し、又、他の職員にも助言し支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても今後の生活についての相談をしている。又、本人や家族からの要望があればできるだけ対応している。		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様と常に対話をして、本人の希望に添えるように努めている。会話の困難な利用者様については職員間で話し合いをもちよりよい方法を模索している。	・居室担当者は利用者の生活歴や趣味を聞いて、意向把握に努めている。コミュニケーションが困難な利用者には、家族からの情報を参考にしながら、表情や動作から読み取るように心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	毎月のフローア会議やケア・カンファレンスにおいて一人一人のニーズにあった対応を話し合い、実行出来るように努めている。		

サリューブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、全体申送りを必ず行い、一人一人の変化を見逃さないよう心がけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員全員でケア・カンファレンスを行い現在の本人にとって一番良いと思われるケアを考えている。又、家族の意見も取り入れている。	・介護計画はケア・カンファレンスのときに、全職員で意見を出し合い、それまでに聞いた家族意見も参考にして作成している。また、利用者の状況に変化があった場合は、その時点で見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録や経過記録及び申送り等の記録を日々共有し、目を通す事でケアに役立てている。更にそれを計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	たとえば、体調不良等の特変事には“かかりつけ医師”との連絡を密にしたり、常に速やかな対応に心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の状況により難しい面もあるが、出来ることから徐々に交流を深めている。地域ケアプラザでの喫茶やアニマルセラピー等のイベントにも参加している。		

サリユールあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	適切な医療が受けられるように出来ている。	・利用者は入所前のかかりつけ医から協力医を主治医に変え、現在は主治医による月2回の往診、看護師による月4回の健康チェック、その他歯科医の往診を得て、利用者の健康管理に努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回のかかりつけ医往診、月4回の看護師来訪時に気軽に相談し健康管理や医療活用の支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医との相談の中で病院関係者との情報交換を行っている。入退院時の対応は早く安心して過ごして頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合には本人、家族、事業所、かかりつけ医とで現状、今後について話し合い方針を共有している。	・利用者が重度化した場合は、医師の指導の下に、本人・家族の意向を尊重して対応している。 ・ターミナルケアについては「指針」が整備され、チーム対応の体制ができている。	

サリューブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	かかりつけ医の指示に基づき、敏速に救急搬送でき、受け入れ先との連携が取れるようになっている。緊急時マニュアルも整備されている。救急救命訓練については年1回行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署立会いのもとで、避難訓練を年2回行っており、全職員が身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策としては、消防署立会いの下で年2回避難訓練を行っている。 ・全職員が利用者の避難誘導その他災害時対策対応は身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に地元自治会等から協力支援を受けることができるように、自治会との間に「災害時の協力協定」などの締結等の検討を期待します。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人の性格、人格に合わせ、日々接するよう心がけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員はプライバシー保護マニュアル、職員倫理規定に基づき、利用者の人格の尊重やプライバシー保護について研修・指導を受け、日常介護で順守するように努めている。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かを決めるときには、出来るだけ入居者様の意見を求めるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	積極的に入居者様が求めていることに応えるようにしている。例えば日光浴、散歩、買い物、ボール遊びなどを入居者様に提案し確認しながら行っている。		

サリューブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2～3カ月に1回、訪問理美容を招いている。入浴後の髪の毛の手入れ、女性の入居者様にはマニキュア等をして喜んで頂けるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一部の入居者様には料理作りを手伝って頂いたり、スタッフと入居者様が一緒に食事をしたり、食事の時間が楽しく過ごせるように心がけている。	・調理などのお手伝い可能な利用者には食事準備を手伝って頂き、職員も一緒に食事をして楽しんでいる。 ・各ユニット毎の外食や行事食の機会を設け、誕生会には家族も招き楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事、水分を記録に残しバランスの良い食生活を心掛けている。食事介助が必要な入居者様にはレベルに合わせて介助するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後はしっかりと口腔ケアを行うようにしている。自分で出来る入居者様には声掛けをし、場合によっては見守りを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	介助の必要な入居者様一人一人の排泄を記録し、排泄パターンを読んだ上でトイレ誘導や声かけを行っている。	・一人ひとりの排泄パターンを把握して、トイレ誘導を行っている。 ・自立している利用者が失敗しても、他の人に気づかれないようにさりげなく対応している。	

サリユーブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳や乳製品を提供したり、体を動かすよう声かけ、軽度の体操等を取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の希望を傾聴し、本人の入浴したい時間帯での入浴を行っている。	・1週間に2回以上、午前10時から夜7時までを入浴時間にしており、希望時間に入浴を楽しむようにしている。 ・入浴を嫌がる利用者には、人を変え、時間を変えて入浴を奨めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、定時の巡回を実施している。眠れない入居者様には話をしたりリビングで眠くなるまでくつろいで頂いている。日中も状況に応じてリビングや居室にて休息して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用法・用量については、ほとんどの職員が理解している。症状の変化等についても申送り等で随時、確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんでいただいたり、新聞紙を折っていただいたりして役割の支援をしている。また、ぬいぐるみを手元に置き楽しんでいただいたりしている。		

サリューブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には外出や外気浴を行っている。又、月に2回、外食会を行ったり、入居者様の希望により買い物や図書館等にも出かけている。	・天気のよい日には散歩や外気浴を行い、一定時間を戸外で過ごすようにしている。また、利用者の希望により、職員と一緒に買い物や図書館にも行って、外出を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様の要望を伺い、金銭面で可能な限り買い物に同伴、もしくは職員が購入している。お金の所持については、以前にアルコール購入等の問題があった為、原則として管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様とご家族の意向を照らし合わせ、その都度、状況判断し対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、入居者様と一緒にを行う掃除。空調の調節や換気。季節の花を花瓶にさして各テーブルに配置するなどして季節感を採り入れている。又、雛祭り、こいのぼり、クリスマス等の行事に於いても飾り付けを行っている	・リビングの採光は豊で明るく、空調にも配慮し、利用者も清掃に参加して居心地の良い空間となっている。卓上には季節の花を活け、季節感を取り入れている。 ・また、雛祭りなど季節毎の飾り付けを行って楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ観賞用のソファがあったり、テーブルは談話出来るように配置したりして入居者様が快適に過ごせるように工夫している。一人になれる空間は居室であるが自由に出入りしている。		

サリユーブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来る限り、昔から馴染んで使用していた物を持参していただいたり、購入したりして本人が居心地よく過ごせるように配慮している。	・居室内は、利用者が家庭で使い慣れた調度品や置物を持ち込み、家族の写真も飾って、本人が安心して過ごすことのできる居心地の良い部屋づくりを工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	掃除、洗い物、片付け、洗濯物畳み等、「できること」や「やりたいこと」を安全に行っている。		

サリューブルあさひ壱番館

平成21年度

事業所名	事業所名 サリューブルあさひ壱番館
ユニット名	2階 (なのはな)

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

サリユールあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、3項目であり、職員は独自の理念を共有し、実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域プラザにて習字、ダンス、お茶会、アニマルセラピー等、利用者が独自に選り参加している。又、近所の図書館や地域センターも利用している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて認知症について話し合い、理解にむけての取り組みを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の皆様にホームでの取り組みを報告し、意見を求めた上で今後のサービスに活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所、保護課担当の職員とは何かがあった際には、すぐに連絡をとっている。又、諸手続の際には高齢支援担当との連絡を密にしている。		

サリュールあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修に参加している。玄関の施錠等は絶対にしないように職員全員が理解しており、当たり前となっている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修に参加している。今後においても学ぶ機会があれば参加していく。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度については、研修等により学ぶ機会はあるが、現在、必要性が少ない為、活用に至っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規の契約締結時には十分な説明を行っている。又、家族からの意見も聞いており、都度対応している。解約については、ほとんど無いが説明により納得されている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所された際、あるいは電話等により家族より意見や要望があった際には会議等により内容を取り上げて討議し、よりよい改善に努めている。		

サリュールあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見を聞く機会は、随時あるが、すぐに反映できる場合となかなか反映できない場合がある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員、個々の実績等を把握し対処されていると思う。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外部の研修等を積極的に行っており、できている。又、ヘルパー2級養成講座等を開設し職員のスキルアップに取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	東華会内での他グループホームとの交流は積極的に行っているが他法人との交流は、ほとんど行っていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを取りながら本人の意見を傾聴し、その中から本人が望んでいる事、不安な事を掘り出し、よりよい方向にて支援している。		

サリュールあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時の面接に於いて家族又は代理人と十分な話し合いを行い相手の話を理解し、お互い納得できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が今、置かれている状況を理解し、十分な話し合いを行った上でサービスの支援をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の状況や本人の思いを尊重し、できる限りにおいて、よりよい関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族がいる場合においては、こまめな連絡により本人の意思を尊重しながら支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限りの支援を行っているが認知症の状況や生活保護者も多い為、なかなか本人が満足するまでに至っていない。		

サリ्यूブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人一人の状況により対応しているが、お互いの好き嫌いもあり苦慮している状況である。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療、福祉サービス等において相談をうけ支援をおこなっている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを持ち、個々の希望・意向が反映出来るように努めている。又、意思疎通の困難な入居者様については心の奥にある真のニーズをつかむように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	環境因子、個人因子など、ライフスタイル等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	健康状態と心身機能を評価、把握し、できる活動に参加していただいている。		

サリユールあさひ壺番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランのサービスやサポートが円滑かどうかの確認、問題点や見直し等もユニットごとに会議にて話されている。又、家族に対しては、ケアプランの確認をして頂いており、意見も抽出し反映させている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各ユニットごとに個別記録を行っており、報告・連絡・相談を密にし職員及び関係職種（医療機関）との情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の希望・要望を十分に踏まえ、生活の質の向上と自立の促進、残存能力の活用等に配慮したサービスの提供に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	出来る限り、外出の機会を作っている。その中で地域の行事やイベントにも積極的に参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族が、現在のかかりつけ医に対し納得しているかどうかは不明であるが、入居時には十分な説明を行っており納得されている。		

サリユーブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	十分な支援をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ほとんど、かかりつけ医からの紹介による入院である為、情報交換はできている。又、入院先は、ほとんどがホームの協力医療機関である為、関係づくりも行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	その場面においては家族にホームに来ていただき話し合いを行っている。又、医療機関との連携も密にしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に一回は救急・救命講習を受けており、ほとんどの職員が身に付けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は年に2回、消防署立会いのもとに行っている。		

サリューブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	申送りや個人的な話をする時には1号室様、2号室様と部屋番号で言い、プライバシーを損なわないように配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の現在の状況に合わせて出来るだけ本人の意思を尊重して対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出を希望される入居者様が多いようですが、入居者様の重度化によりニーズに合った対応が難しくなってきた。できるだけ希望にそった支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	現在、スタッフに理容師がいるのでスタッフの休みを利用して対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様全員が出来るわけではないので、出来る入居者様については、一緒に行くように声かけ、実行している。		

サリユーブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	飲み物は入居者様の好みに合わせて対応し、食事については味付け盛り付けを工夫して一人一人の状態に合わせるよう心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、ご自身で出来る入居者様は見守りで、出来ない入居者様には本人に合った口腔ケアを心がけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	スタッフ一人一人が入居者様の習慣を活かし、自立に向けた支援が出来ている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防としては、その入居者様に合わせて、牛乳やヨーグルト等の摂取や運動等を取り入れている。又、かかりつけ医にも相談をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人一人の希望やタイミングに合わせて入浴できている。		

サリユーブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間はありますが、それにもこだわらずに本人の好きな時間に休めるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の職員が薬の目的や副作用等について理解している。症状の変化についても、その都度、医師に連絡している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様一人一人に合った、気分転換等の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	戸外に出かける機会は数多く取り入れている。毎月の外出会（外食会）や行事として初詣、秋の日帰り旅行等も恒例となっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を渡した場合に、医師より止められているお酒を買ってしまう入居者様がいて、渡してはいないが、スタッフと一緒に買い物に行き、自由に使える状況にしている。		

サリューブルあさひ壱番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の要求があれば、自由に電話が出来るようにしている。但し、内容の確認は行っている。手紙については、書ける入居者様が少ない為、ほとんど要求がない。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレには常時、消臭剤を設置したり、浴室の入り口には暖簾をつけたりして雰囲気をだしている。特にいろいろと工夫はしていないが、居心地は悪くないと思われる。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様同士でも好き嫌いがある為、トラブルにならないように入居者様の座る席を工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的には家族のいる入居者様については、家族がレイアウト等をおこなっている。本人や家族の要望がある場合には、その都度対応している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物における安全対策は講じている。入居者様のADLを低下させないように出来ることはやっていただく。その為、トイレや居室の入り口に名前を貼っている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

サリユールあさひ壱番館

作成日

平成22年4月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時に於ける地元自治会等の協力支援が確立されていない為、今後に於いては“災害時の協力協定”の締結に向けて話し合っていきたい。	①旭区都岡消防署との連携をはかり、災害時の緊急対応について協力を得る。 ②地元自治会との連携を密にし災害時の協力体制を築く。	①年に6回行っている運営推進会議に消防署員の参加(年2回程度)を得る ②運営推進会議時に地元自治会の協力を得、又地元の災害訓練にも参加し連携を深める。	①22年5月及び11月 ②本年度中
2	52	家族からの要望、改善希望点において“整理整頓”“ニオイが気になる”“照明が暗い”等の指摘事項があった為、改善に努める。	家族が来訪した際に居心地の良い環境をつくる。又、“家族を入居させて良かった”と思えるホーム作りを目指す。	4月…玄関前の整理整頓 5月…駐車場前の整備 6月…スタッフルーム内の整理整頓 7月～10月…共有部分の整理整頓 11、12月…ホーム周辺	本年度中
3					
4					
5					